ねずみ浄土

じさとばっぱとえだけど。じさは庭を掃くどって豆っこ拾ったけど。その豆こあねずみ穴さころんで行ったけど。したば、ねずみ穴がら赤い着物着たあねさま出はってきて、じいさどこさ「おれえさ餅くいにきてけろ」ってゆたげど。したば、まだ、べぢのあねさま出はって来たけどよ。「おれ、じさどご、たげでえぐがらまなぐしくってでけろ」ってそのじさたげていったけど。「まなぐあげでもえ」てゆわれで、ぢさ、まなぐあげだば、それごそ、りっぱな座敷さいったけど。そござねずみあいっぱいいで、鉢巻きして餅つきだけど。「はあでだばだこんこんでだばだこんこん、百になっても二百になっても猫の声も聞いだごどあねえスッコラコンのコンコンコン」て餅つきだけどよ。一生懸命ついで、つげだどてこんだあ御馳走されて、そしてじっぱりもぢもらって、そのじさ、家さもどって来たげどよ。

したば、となりのへちゃへちゃばんばあ来て、「あらあらここの家であ、どこから餅もらって食ってだべえ、まんずまんず珍らしいこと」ってきぐけど。「おらえのじさ庭掃くどって、豆っこ拾ったば、その豆っこねずみの穴さころんで行て、そしたばねずみが出はって来て、ねずみがらもらって来たなんだ」ってえたけだけど。「んだばおら家のじさどこも、庭掃かせで拾わせる豆っこ、ころばしてやってみる」ってえたけど。「じさじさ、となりのじさだ、庭掃いて豆っこ拾って、そして、ねずみ穴さころばしてやって、ねずみがら餅もらって来てだっけ。じさも庭掃いで豆っこ拾え」てゆたけど。

となりのぢあ、そのとおりやったばやっぱりあねっこ出はって来て、ねずみだぢあ餅ついでだどさ、えたけど。「はあでだばだこんこん、でだばだこんこん百になっても二百になっても猫の声聞いだごどあねえし、スッコラコンのコシコンコン」と餅ついてだっげどよ、ゆど、となりのじさニャオンちゅったんだどよう。そうしたっきゃ、ねずみら、ガタガタと逃げでしやその庭敷あまっくらになってしまったけど。したばよう、上ってくるのもなんねぐなってしまったけど。ばっぱまだ早く持ってこいどって、ねずみの穴あ鍬で掘ったけどよ、したば、じいさんの頭掘っちまったけど。

それではあ、まずあんまり人まねていうのはされないもんだあていうごど。

とっぴんからりのさんしよのみ、だ、さんしよくでがら山さいげ、にんにくくでやがらやぎさいげ、なんばんくでがらおらえさこい、とんぴんからりのぷー。